

<b>クロラントラニプロール・ピメトロジン粒剤</b> <b>フェルテラチェス箱粒剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> 北興, Meiji  <b>原体メーカー：</b> FMC, シンジェンタ
<b>成分：</b> クロラントラニプロール〔アントラニリックジアミド系〕…0.75% ピメトロジン〔ピリジンアゾメチン系〕……………3.0%	<b>性状：</b> 類白色細粒  <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 新しい系統の構造を有するクロラントラニプロールとピメトロジンからなる水稲用箱処理剤であり、既存の抵抗性害虫にも有効である。
- コブノメイガ、ニカメイチュウ、フタオビコヤガなどのチョウ目害虫やイネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、ツマグロヨコバイ及びウンカ類などの広範囲の水稲害虫に高い効果を発揮する。
- 箱処理で長期間に渡る効果の持続が期待できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 育苗箱の上から均一に散布し、軽く灌水してから移植する。
- 本剤処理後に急激な乾燥が起こりやすい場所や温度変化が大きい場所で育苗した場合、葉害が生じるおそれがあるので注意する。
- 本剤処理後の低温で葉害を生じるおそれがあるので温度管理に注意し、適切な育苗に努める。
- 本剤処理後に移植適期を過ぎると葉害を助長させるおそれがあるので、適期の移植に努める。

### 【安全対策上の注意】……………

- 甲殻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。



### 【適用と使用方法】……………

作物名	適用害虫名	1箱*当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロラントラニプロール を含む農薬の総使用回数	ピメトロジンを含む 農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ コブノメイガ イネドロオイムシ イネミズゾウムシ	50g	は種時 (覆土前)～ 移植当日	1回	育苗箱の 上から均 一に散布 する。	1回	3回以内 (移植時までの 処理は1回以 内、本田では 2回以内)
	フタオビコヤガ イネツトムシ		移植3日前 ～移植当日				

\*育苗箱は30×60×3cm、使用土壌約5ℓ